

佐久市佐久っと支援金事業 自己評価報告書

		評 価 日	平成31年 3月 27日
団 体 名	J A佐久浅間助け合いの会	代 表	佐々木邦子
事 業 名	J A佐久浅間助け合いの会 「ほほえみ広場」		
対 象 経 費	407,810 円	支 援 金 交 付 対 象 経 費	407,810 円
支 援 金 額	203,000 円		

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>佐久地域でも、一人暮らし世帯や高齢者世帯が増えています。高齢者が可能な限り住み慣れた生活の場で安心して自分らしい暮らしが続けられる地域づくりをめざすため、定期的に歩いて参加できる身近な地域で交流の場として、みんなで支えあう地域力をつけることを目的とした「ほほえみ広場」を開催します。平成30年度は、新規開設を3か所を目標としてすすめてきました。また、同会で先立ちができる活動会員を増やす共に、同会の活動内容を知ってもらう機会と気軽に参加できる機会をつくります。</p>
	<p>内容</p> <p>目的の達成のため、同会員の拡大や地域に向けた公開講座・講演会を開催します。会員や地域の皆さんの理解や関心を深めるため、広報活動を行います。</p>

事業の活動実績	<p>JAの地域ボランティアとして、地域の高齢者が可能な限り住み慣れた生活の場で安心して自分らしい生活が続けられる地域づくりをめざしました。そして、歩いて参加できる場所で定期的に「ほほえみ広場」の開催を行いました。また、公開講座や広報活動を積極的に行い、会員の拡大に努めました。以下、報告します。</p> <p>①新規会員の拡大 活動会員12名、賛助会員2名 合計 14名の増加</p> <p>②「ほほえみ広場」の開催、新規開設「ほほえみ広場」の状況報告 地域での「ほほえみ広場」延べ 283会場、3,371人。「おでかけほほえみ広場」4回、213人うち、新規開設「ほほえみ広場」は、望月 春日金井地区、藤巻地区 ほか 2会場 合計4会場</p> <p>③地域のみなさんの理解や関心を深めるために、地域に向けた公開講座・講演会 ・専門家から、高齢者や認知症の理解をするための専門研修会(認知症、音楽療法) ・「生きる喜び」や「楽しみ」を見出す支援をするため、手先や頭を使う趣味創作技術を身につけ、集団の中での指導をする講座(小物づくり、ハーバリウム、手芸) ・どの年代にも対応できるリクレーションについて専門的な知識・ノウハウを学び、身につけ、転倒予防等の介護予防体操を参加者へ指導を行うための講義(音楽療法、お手玉、体操、笑いヨガ、健康教室)</p> <p>④広報活動 ・全国月刊雑誌発行部数第1位の「家の光」平成30年11月号にJA佐久浅間助け合いの会「ほほえみ広場」が掲載されました。JA広報誌をはじめ、佐久市広報、日本農業新聞等にも掲載されました。</p>
---------	--



事業の成果・効果	<p>今回の支援金事業に参加させていただき、佐久市行政をはじめ、多くの皆さんにJA佐久浅間助け合いの会や同会の趣旨、地域で開催している「ほほえみ広場」を知っていただける機会があり、大変うれしく思います。</p> <p>健康寿命を延ばし、なるべく介護保険制度に頼らず、元気で住み慣れた地域で暮らし、地域で地域の民とともに共助できたら、こんな素敵なことはありません。</p> <p>平成30年度は、地域での交流の場、ふれあいの場として「ほほえみ広場」の新規開設ができ開催会場も増えました。同会に賛同いただける会員も18名増えました。引き続き同会の活動を多くの皆さんに知っていただく機会をつくりたく思います。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 事業の申請以上にできた。
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 地域の引きこもりの方へ声をかけたり、新規開設ができた。公開講座を開催し、広く地域のみなさんに知っていただく機会ができました。
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 通信費が多くかかりました。備品の購入はできませんでした。講演会の講師料については、同会の活動の趣旨に賛同いただき、無料で引き受けていただいた講師もありました。
	その他、評価すべき点等	佐久市広報掲載により、多くの佐久市住民にも、知っていただきました。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	同会の趣旨の理解をしていただき、賛同いただきますように、いままで以上に広報活動を行います。同会が長く続き、地域住民が安心して参加いただけるように、世代交代もスムーズにできるように、事務局のJAも力をいれていきます。
---------	---